



夢追人Ⅱ

太宰府市立太宰府中学校
学校通信 10号(R3. 3. 24)

1 3年生、次のステージへ旅立ち

■3月12日(金)、本校体育館に於いて「令和2年度 第41回卒業証書授与式」が行われました。本年度も新型コロナウイルス感染防止のため、式の内容の削減や在校生の代表者のみの参加、保護者や来賓の皆様参加人数の制限等、従前通りとはならない式となりました。

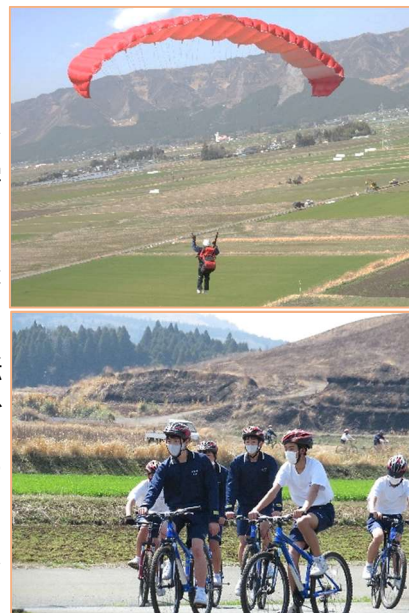
■そのような中でも、103名の卒業生は「凜」とした姿と笑顔で、立派に卒業生として役割を果たすことができました。3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。教職員の中には、その立派な姿と入学時の姿を比べ、その成長に涙する者も多かったです。

■最上級生としてのこの一年は、4月・5月の臨時休業に伴い、体育祭を始め多くの学校行事や生徒会行事ができませんでした。そのような中でも、リーダーシップを発揮し「Team 太宰府」の牽引役としての活躍は素晴らしく、新たな「Team 太宰府」の基盤をつくってくれたと評価しております。上級学校へ進学しても、「Team 太宰府」で学んだこと、経験したことをさらに伸ばし、太宰府市民として、日本の社会の一員として活躍してくれることを期待しています。



2 『頂挑超』2年生が修学旅行に行ってきました

■3月18日(木)・19日(金)の2日間、2年生が修学旅行に行きました。1日目は、阿蘇に向かい「阿蘇ネイチャーランド」でパラグライダー・ロゲイニング・マウンテンバイク・ディスクゴルフ・乗馬等のコース別体験活動に取り組みました。心配された天気も快晴(やや春霞あり)で、大自然の中で歓喜と笑顔にあふれ、学校では経験できない時間となりました。その後、阿蘇ミルク牧場で昼食を取り、夕方には草千里に移動し、平原の中で宣言大会を行いました。各学級の代表が少し離れたところから、日頃出せない大声で自分の思いや歌を学年の皆に伝えました。この宣言大会は、生徒や教員だけでなく旅行者やバスの運転手・ガイドの皆さんにも大好評でした。2日目は、阿蘇のホテルを出発し「三井グリーンランド」に移動し、これまでの新型コロナウイルス対応のストレスを発散するかのよう、アトラクションを思う存分楽しみました。



■今回の修学旅行は、「頂挑超～悔いのない最高の思い出を家族とともに～」をテーマに、実行委員の生徒が中心となり、綿密な準備をすすめてきました。そして、テーマ通りに学年がひとつの「家族」となり、最高の思い出をつることができたと考えます。実行委員の皆さん、本当によく頑張りました。そして、その努力に精一杯応えた2年生の皆さんもよく頑張りました。ここで、4名の2年生に修学旅行を振り返ってもらいました。

〈2年1組 大久保 恵理 さん〉

■皆さん、修学旅行お疲れ様でした。私の思い出はたくさんありますが、とても心に焼きついたのは、1日目のネイチャーランドでマウンテンバイクをとばした時の爽快感とヒヤヒヤ感、草千里のこの世とは思えない広さでした。また、2日目のグリーンランドでの空中ブランコ上からの景色、N I Oの中での班員の魂が抜けた顔などがあります。こうして挙げるだけでもきりがありません。そのときに感じたことや気持ちは国宝級の宝物です。この自分専用とも言える宝物をこれからの自分に生かしていきます。もうすぐ私たちは夢を追いかける3年生です。皆さんも、この思い出が人生の道で輝き続けるように、この先に生かしていきましょう。

〈2年2組 大坪 咲太 さん〉

■2年生の皆と同じ景色を見て、同じ食事をとり、一緒に眠り、熊本の大自然の中で過ごせたことがとても嬉しかったです。皆、2年生の輪を大切に行動できたと思います。そう感じたのは、実行委員の指示や頑張りだけでなく、その前に一人一人が2年生の輪を意識し、自ら考えて行動できていたからだだと思います。それは一人一人が相手や仲間を大切に作る和の心があったからだだと思います。僕は修学旅行を通して、団体行動の「輪」と相手を大切にする「和」を学びました。

〈2年3組 平井 心 さん〉

■修学旅行を通して、私が学んだことは3つあります。1つは仲間の大切さです。仲間がいることで支え合い、高め合い、共に成長することができます。2つは周りをよく見ることの大切さです。周りをよく見ることで仲間を大切にすることができ、気を配る力が高まります。3つは感謝することの大切さです。今回の修学旅行は決して数人で創れるものではありませんでした。私はこれからの人生の中で、修学旅行で学んだ3つのことを大切にしていこうと思いました。

〈2年4組 高部 かのん さん〉

■私は人前で話すことが苦手な不安もたくさんありましたが、実行委員として皆と協力し、無事に修学旅行を終えることができました。コロナ禍の中ですが、阿蘇の大自然を満喫し、マウンテンバイクで山頂から見た景色は最高でした。また、初めてのグリーンランドは、班の皆と一緒に丸一日楽しく遊ぶことができました。旅行会社やカメラマンの方々、バスやホテルの方々、引率して下さった先生方、そして旅行に行かせてくれた家族に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

3

副市長さんが来校、1年生に講話

■3月22日(月)、1年生が職業調べでお世話になった太宰府市副市長 清水圭輔 様が来校され、1年生に講話をして頂きました。清水副市長様は先日の職業調べの際に、生徒が書いたお礼状に感動され、同じ太宰府人(ださいふびと)として故郷の良さを伝えるために来校されました。

その際、清水副市長様は2つのことを1年生に話されました。1つは「挨拶の大切さ」です。今日をきっかけに、学校だけでなく地域でも挨拶できるようになってほしいことを伝えられました。2つは「郷土に誇りを持ってほしい」ということです。中学校を卒業して社会に出たときに、自分の郷土の良さを伝えることができる人になってほしい。そのために、ぜひ春休みに太宰府市内に44ヶ所ある万葉碑を巡って、太宰府の歴史に触れてほしいことを話されました。清水副市長様、ご多忙の中ご講話頂き、ありがとうございました。



■令和2年度の太宰府中学校の教育活動は、本日終了を迎えることができました。4月・5月の緊急事態宣言による全国一斉臨時休業によりスタートした本年度でしたが、学校行事の削減や夏休みの短縮等を経て、本日の修了式を迎えることができたことに安堵の気持ちを覚えるところです。これも、生徒の皆さんはもとより保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力なしでは実現することはできませんでした。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

■令和3年度も、コロナ禍の中で教育活動を進めていくことが予想されます。「できない」から「どのように工夫すればできるか」、「できるためにはどのように変更するか」に基本的な考え方をシフトしながら、「Team 太宰府」を伸長させていきたいと考えております。来年度も、本年度と変わらぬご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。

太宰府市立太宰府中学校 校長 小宮 雅弘
〃 学校運営協議会 会長 赤塚 睦男
〃 父母教師会 会長 田村 成寛